

# 「開かれた総合水試」高度情報化事業

事務局：企画開発推進室

コンピュータシステムを利用して、人工衛星情報、漁獲情報、魚病情報等の水産研究にとって有用な各種の情報を収集するとともに、「開かれた水産試験場」として、蓄積された情報をもとに各種情報の発信に努めた。

また平成15年度も、昨年度に引き続き、漁業者と直接意見を交換し、現場のニーズに添った研究を行うことを目的に、移動水試等を開催した。

さらに、県の研究機関が科学技術振興課に統括され、試験研究内容及び機関の外部評価について、統一的な評価システムが導入実施された。

## 1) 試験研究情報の収集

### (1) 人工衛星情報処理システム

人工衛星ノア12号、14号、15号より、九州近海の水温画像データをほぼ毎日受信した。得られた情報はただちに解析を行い、そのうちの一部のデータについてはFAX情報サービスシステムを通じて、情報提供を実施した。

平成15年度情報収集回数：のべ868回

### (2) 魚病情報データベース

県下各地の魚病発生情報を収集し、データベースへの登録を134件実施した。

魚病データベース累積件数 合計 2,575件

### (3) 海況データベース

県下各海域の海況情報を収集し、データベースへの登録を20,875件実施した。

海況データベース登録件数 合計178,535件

## 2) 試験研究情報の発信

### (1) インターネットによる情報発信

インターネット上にホームページを開設し、以下の情報の提供を実施した。

(ホームページの主な内容)

○総合水産試験場の施設の紹介

○情報サービス

○漁海況情報

○人工衛星画像

○最新の試験研究話題のコーナー

○マリノラボニュース

○水産関係リンクページ

○インターネットマムパーク

平成15年度来訪者アクセス回数 延べ18,081人

### (2) 音声・FAX情報サービス

音声・FAX情報サービスの運用を行い、以下の情報の発信を行った。

○漁海況情報

○人工衛星による水温画像

○定線観測情報

○魚病情報

○赤潮情報

○最新試験研究情報

○県内の漁具・漁法情報

システムによる情報発信件数 計 4,431件

### (3) 情報誌の発行

平成16年2月に「事業の成果と取り組み事例」を発行し、移動総合水産試験場等で配付した。

\* 情報収集・発信実績は、表1のとおり。

## 3) 移動総合水産試験場の開催

漁業者と直接意見を交換し、現場のニーズに添った研究を行うことを目的に、県北地区移動総合水産試験場を開催した。

○佐世保：平成16年2月5日 参加者数：41名

○田 平：平成16年2月6日 参加者数：82名

合計 123名

両日とも活発な質疑が交わされ、また研究課題に対する意見や要望等も多く寄せられ、非常に有意義な催しとなった。

#### 4) 外部評価の実施

##### (1) 新たな外部評価システム

平成15年4月に、県の7研究機関を統括する科学技術振興課が設置されたことに伴い、統一した新たな評価システムが導入された。

水産試験場をはじめ各研究機関において先に導入していた外部評価システムを活かしつつ、新たな研究課題の選定評価や研究推進の助言を行う「研究推進委員会」と、研究機関自体や研究課題の進捗等の評価を行う「評価委員会」の2つの委員会を導入した点が特徴となっている。

- 対象 ・ 課題評価（毎年実施）  
・ 機関評価（毎年実施）
- 種類 ・ 事前評価（新規の課題を評価）  
・ 途中評価（継続中の課題を評価）  
・ 事後評価（終了した課題を評価）

##### (2) 外部評価の結果

平成15年7月、水産分野研究推進委員会で、16年度新規要望課題4件の評価を受け採択された。

平成15年8月、研究推進委員会で、各研究機関提案の6課題中、水試提案の連携プロジェクト1件をはじめ3件が採択された。

平成16年1月、水産分野課題評価委員会で、途中評価6課題、事後評価1課題の評価を受け、「良」の評価を受けた。

平成16年2月、水産分野機関評価委員会で、水試全体の研究業務及び技術サービスについて評価を受け、「良」の評価を受けた。

なお、評価の概要については、科学技術振興課のホームページに順次公表されている。

(<http://www.pref.nagasaki.jp/kagaku/>)

#### 5) その他

##### (1) ながさき水産科学フェアの開催

当水試がある新長崎漁港地区の国際海洋研究ゾーンに、(独)水産総合研究センター西海区水産研究所が新築移転し、既設の長崎大学水産学部附属海洋資源教育研究センターとあわせて水産研究の3機関が集積した。これを機会に、3機関共催で「第1回ながさき水産科

学フェア」を10月19日に開催した。

3機関では、施設を開放し、各種の水産関係の体験や施設の見学等のイベントを行うとともに、シンポジウムを開催した。

当日の参加者は、780名で3機関の試験研究活動や水産業への興味と理解を深めていただいた。

また、翌日のシンポジウムには、129名の参加があり、3機関の今後の連携と地域貢献に対する多くの要望が寄せられた。



(写真は、10月20日のシンポジウム)

##### (2) 記者室投げ込み等

試験研究で得られた成果を、漁業者をはじめ県民に広く伝え、成果の普及を図ることを目的に、記者室投げ込み等の広報活動を行った。

平成15年度記者室投げ込み件数 7件

(担当：柳村)

表 1. 総合水試 情報収集発信関係 実績

(H16. 4. 1 現在)

## ●情報収集関係

## ●情報発信関係

	人工衛星 情報収集 回数	魚病データ ベース 登録件数	海況データ ベース 登録件数	ホームページ 訪問者数	音声・FAX 情報サービス 利用件数	その他
平成9年度	897	1,860	0	3,277	2,168	機関誌等2,000部
平成10年度	1,066	189	37,844	6,635	3,308	機関誌等2,000部
平成11年度	897	75	24,263	8,850	3,903	機関誌等2,000部
平成12年度	946	123	30,247	13,533	4,802	機関誌等1,000部
平成13年度	771	99	32,589	14,350	3,782	機関誌等2,000部
平成14年度	883	95	32,717	15,787	3,557	機関誌等1,500部
前年度まで	5,460	2,441	157,660	62,432	21,520	機関誌等10,500部
15年4月	87	16	3,111	1,427	339	
15年5月	87	5	0	2,054	425	
15年6月	76	12	2,479	1,571	442	
15年7月	66	20	0	1,688	338	
15年8月	83	14	3,276	1,342	403	
15年9月	60	19	0	1,481	669	
15年10月	89	6	1,289	1,619	376	
15年11月	73	7	2,951	1,298	340	
15年12月	94	11	2,489	1,468	263	
16年1月	73	8	0	1,309	261	
16年2月	43	6	2,750	1,355	262	機関誌等1,600部
16年3月	37	10	2,530	1,469	313	
平成15年度	868	134	20,875	18,081	4,431	
合計	6,328	2,575	178,535	80,513	25,951	機関誌等12,100部

